

生徒の日記から

7日目 (12月15日(金))

橋本侑佳

ミルズ高校は2日目だったので、昨日話した生徒に手を振ったり声をかけられたりすることもあって、今日で終わってしまうのが寂しいと思った。交流ではアメリカの高校生との違いや共通点を話し合った。好きなものが同じだったりすると話が盛り上がり、短い間だったが有意義な時間を過ごせ、忘れられない経験となった。

西川日葵

プレゼンは少し間違えたりハプニングがあったりしたが、しっかり行うことができた。ミルズの生徒とたくさん話し、とても充実した2日間を過ごすことができた。もっとミルズにいたいと思った。明日はもっと積極的に話をするように頑張りたい。また、悩んでいる研修生に、解決できるような方法を一緒にもっと考えたい。

新田亮介

よく考えたら、ミルズの生徒たちは日本語をまだ1・2年しか勉強していないのに我々日本人と会話をしている。中学2年で「英語を使って外国人と話せ」と言われても私には無理である。さらば、ミルズ高校。さらば、ミルズの生徒よ、友達よ。ちなみに、ウォリアーズのバスケの試合を見に行き、面白かった。

矢口愛悠

ミルズ高校で「日本の流行」についてプレゼンした。紹介するときに写真を見せたり音楽を流したりしたときに反応があって嬉しかった。ホストマザーのフランシスが「私たちの家族が一番だよ！」と何度も言ってくれた。夕食後、福笑いをした。3人とも楽しめてよかった。あと少しでホストファミリーと会えなくなると思うととても悲しい。